

# こっこめ通信 10 2021

八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

「新参者と秋のご常連」号

八丈島でも最低気温が20度を下回るようになってきました。ここまで来ると、あまり季節のめりはりが感じられない八丈島に暮らしていてもさすがに秋の到来を実感させられます。ところで、昔から色々な形で他の地域との交流が盛んな八丈島では、毎年のように新しい動植物が記録されています。

そこで今回は、最近記録されたアカギカメムシの話題と、毎年定番の秋の渡り鳥達の様子を紹介します。

## 新参者アカギカメムシは何処から？



アカギカメムシ *Cantao ocellatus* キンカメムシ科  
この姿を見て妙な違和感を覚えるのは私だけでしょうか？  
一見して甲虫のようにも見えるので、カメムシの仲間と理解していても左右の鞘翅を分ける中央の線を想像してしまうのですが、この虫の背面には中央線が存在しません。鞘翅のように腹部を覆っているのは、小楯板といって甲虫なら鞘翅を開くための蝶番が付いている部分が発達したもののなのです。

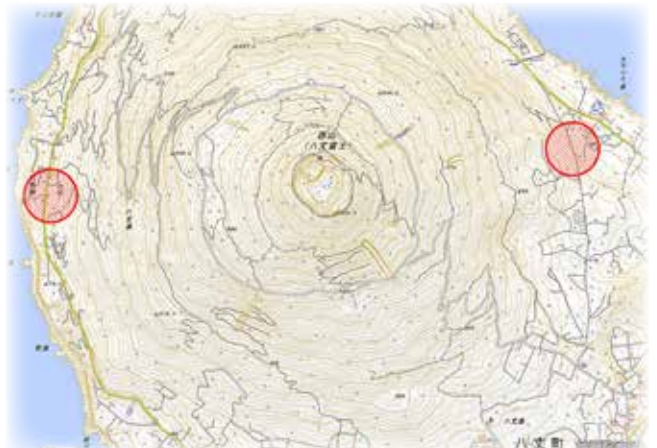


アカギカメムシの腹部を覆う小楯板の下には前後二組の膜質の翅が収まっていて、飛ぶときはこれを小楯板の脇から出して力強く飛びます。飛ぶ姿はハナムグリの仲間に似て、スピードがあります。本来の生息地は東南アジアから日本の南西諸島ですが、近年は北方へ分布を広げ、静岡県でも繁殖が確認されているようです。この仲間は飛ぶ力が強いので、温暖化に伴って自力で八丈島までやってきたのかもしれない。



アカギカメムシは時に何十頭も集まって大集団を作ることがあるらしいのですが、八丈島ではそれ程の集団は観察されていません。そのことから、この虫が最近になってから八丈島に進出してきたことが想像できます。

今後の推移を見守っていきたいと思います。(T.K.)



上の地図の赤丸で示した場所が、これまでにアカギカメムシが確認された場所です。いずれも八丈富士の裾野で比較的海岸に近い地域ですが、八丈富士の頂上を挟んでちょうど反対側に当たります。この2カ所だけにしかいないというのは納得できませんね。他の場所でも見られないか、現在搜索中です。

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。



# 秋の渡りが始まった！！

気のせいかもしれませんが今年秋の訪れが少し早いような気がする八丈島です。気がつけば、秋の花々が咲き始めています。越冬地に向かう渡り鳥たちは早くも7月下旬から八丈島に立ち寄ってくれています。そこで、今までにビジターセンター職員が確認した渡り鳥たちを初認日順にご紹介します。(M.K.)



【イソシギ】  
初認：2021.7.27  
撮影：2021.9.17



【ムナグロ】  
初認：2021.7.27  
撮影：2021.9.17



【キョウジョシギ】  
初認：2021.8.10  
撮影：2021.8.12



【ツバメ】  
初認：2021.8.10  
撮影：2021.8.12



【カワセミ】  
初認：2021.8.12  
撮影：2021.8.12



【ダイサギ】  
初認：2021.8.12  
撮影：2021.8.12



【アメリカカウズラシギ】  
初認：2021.8.16  
撮影：2021.8.21



【ヒバリシギ】  
初認：2021.8.19  
撮影：2021.8.28



【エリマキシギ】  
初認：2021.8.21  
撮影：2021.8.27



【セイタカシギ】  
初認：2021.8.22  
撮影：2021.8.30



【ヤツガシラ】  
初認：2021.8.26  
撮影：2021.8.27



【イカルチドリ】  
初認：2021.8.29  
撮影：2021.8.30



【ソリハシシギ】  
初認：2021.8.30  
撮影：2021.8.30



【バン】  
初認：2021.8.30  
撮影：2021.8.30



【チュウシャクシギ】  
初認：2021.9.2  
撮影：2021.9.11



【ツメナガセキレイ】  
初認：2021.9.2  
撮影：2021.9.17



【エゾビタキ】  
初認：2021.9.3  
撮影：2021.9.5



【コガモ】  
初認：2021.9.16  
撮影：2021.9.16



【キセキレイ】  
初認：2021.9.17  
撮影：2021.9.17

《この他の渡り鳥》※ ( ) 内初認日

- ・タカブシギ (2021.7.27)
- ・タシギ類 (2021.8.29)
- ・クロツグミ (2021.8.31)
- ・メダイチドリ (2021.9.3)
- ・ノビタキ (2021.9.9)
- ・クロハラアジサシ (2012.9.9)
- ・コサギ (2021.9.15)
- ・トウネン (2021.9.15)
- ・ツグミ (2021.9.18)
- ・チョウゲンボウ (2021.9.23)

※初認日は職員が確認した日、撮影日は私が撮影した日となっています。

確認した野鳥は全29種でした。

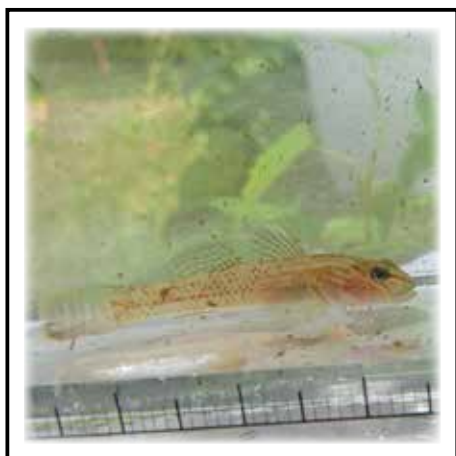
# 八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものを観察して季節を感じてもらう目的で「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。季節の変化を感じられる植物は全て記録し、野鳥や昆虫の様子も観察しています。今回予定していた9月12日も臨時休館の為、スタッフだけで実施しました。

八丈植物公園季節調査（2021年第8回）参加者：VC木下，長谷川，菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			32	ナガエコミカンソウ	花と実	15	ヒメユズリハ	実
1	アオツツラフジ	花	33	ナキリスゲ	実	16	ホルトノキ	実
2	アオノクマタケラン	実	34	ナンバンギセル	花	17	モッコク	実
3	アシタバ	若い実	35	ハイメドハギ	花	18	ヤブツバキ	実
4	アメリカスズメノヒエ	花	36	ハキダメギク	花	19	ヤブニッケイ	実
5	イガガヤツリ	花	37	ヒガンバナ	蕾	シダ植物		
6	イワニガナ	花	38	ヒナギキョウ	花	1	イシカグマ	
7	ウスベニニガナ	花	39	ヒメクグ	実	2	オオイタチシダ	
8	ウリクサ	花と実	40	ヒメヨツバムグラ	花と実	3	オオタニワタリ	
9	オオアレチノギク	花と実	41	ヘクソカズラ	花	4	オニヤブソテツ	
10	オオバコ	花と実	42	ベニバナボロギク	花	5	カニクサ	
11	オニタビラコ	花と実	43	ヘラバヒメジョオン	花	6	シチトウハナワラビ	
12	オニドコロ	花と実	44	ホソバツルメヒシバ	実	7	タチクラマゴケ	
13	カタバミ	花と実	45	ママコノシリヌグイ	花	8	タチシノブ	
14	カラムシ	花	46	メヒシバ	実	9	タマシダ	
15	クグガヤツリ	実	47	ヤブガラシ	花	10	トラノオシダ	
16	クズ	花	48	ヤマイ	実	11	ナチシケシダ	
17	ケナシヒメムカシヨモギ	花と実	木本			12	ノキシノブ	
18	コゴメガヤツリ	花	1	アオキ	若い実	13	ハチジョウカナワラビ	
19	コニシキソウ	花と実	2	アカメガシワ	実が残る	14	ハチジョウシダ	
20	コミカンソウ	花と実	3	イヌビワ	実	15	ハチジョウベニシダ	
21	ザクロソウ	花	4	エノキ	実が残る	16	ヒトツバ	
22	ススキ sp.	花	5	オオムラサキシキブ	実	17	ヘラシダ	
23	セイヨウタンポポ	花	6	オオバヤシャブシ		18	ホシダ	
24	センニンソウ	花	7	ガクアジサイ	若い実	19	ホラシノブ	
25	タケダグサ	花	8	シチトウウタラノキ	花	20	マツバラソ	
26	タチスズメノヒエ	花と実	9	シマクサギ	花	21	マメツタ	
27	チガヤ	花	10	スタジイ	実の虫こぶ	22	ミゾシダ	
28	ツユクサ	花	11	タイミンタチバナ	実	23	ヤマイタチシダ	
29	ツルボ	花と実	12	テイカカズラ	実	今回は、シダ植物23種を含む90種の植物を観察しました。野鳥ではカラスバトが頻繁に見られ、その声も賑やかでした。		
30	テンツキ	実	13	トベラ	実			
31	トウバナ	花と実	14	ヒサカキ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「クロヨシノボリ」にスポットを当ててみたいと思います。



## クロヨシノボリ *Rhinogobius brunneus*

八丈島には水の涸れない川が複数あり、ヌマエビやテナガエビ、モクズガニ、ウナギ、オオウナギなど、一生の間に川と海を行き来する生きものが生息しています。治水工事によって落差数メートルもあるコンクリートの滝もできていますが、生きもの達はそんな障害を物ともせず上流まで遡上してくるのです。そんな中、昔から噂だけが知られていたハゼの一種が確認されました。2019年の夏、ビジターセンター利用者の方が採集したクロヨシノボリです。

今回は自前で調査し撮影することができました。(T.K.)

# 2021 10

## 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。  
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります					1	2 ガイドウォーク
3 ガイドウォーク	4	5 ●	6	7	寒露 8	9 ガイドウォーク
10 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	11	12 ☾	13	14	15	16 ガイドウォーク
17 ガイドウォーク	18	19 ○	20	21	22	霜降 23 ガイドウォーク 八文学講座 「裏見ヶ滝自然観察会」
24 ガイドウォーク 秋の特別行事 「東山林道ハイキング」	25 ☾	26	27	28	29 ☾	30 ガイドウォーク
31 ガイドウォーク						

### イベントプログラム

#### 植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！  
10/10(日) (13:30～15:00) 中学生以上  
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

#### 八文学講座 「裏見ヶ滝自然観察会」

毎月行っている八文学講座。今月は中之郷地区の裏見ヶ滝周辺を歩きます。  
10/23(土) (13:30～15:00) 中学生以上  
裏見ヶ滝温泉駐車場 集合・解散 参加費：50円 定員：10名

#### 秋の特別行事 「東山林道ハイキング」

環境省が提唱する「全国・自然歩道を歩こう月間」に合わせて開催します。  
10/24(日) (10:00～15:30) 小学生以上 (小学生は保護者同伴)  
ブルーポート・スパ ザ・BOON 駐車場 集合・解散 参加費：50円 定員：10名

#### 植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。  
毎週 土日及び祝日、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。 **10月3日まで中止**  
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

### ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

当面の間は上記のみの上映になります

東京都八丈ビジターセンター 2021.10.1 第245号

開館時間 9:00～16:45 10月4日より開館(入館無料)  
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

E-mail：info@hachijo-vc.com

http://www.hachijo-vc.com

### 編集後記

照葉樹林に覆われた八丈島では秋の紅葉を愛でる機会ほとんどありません。落葉樹も八丈島では色づくことなくいつの間にか葉を落としてしまいます。しかしその年の気候によっては稀に紅葉することがあります。今年はどうでしょうか？ (T.K.)